

ダブル・ブレイン・コア（スタンダード）

運用報告書(全体版)

第4期（決算日2026年5月18日）

作成対象期間（2025年5月20日～2026年5月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）		
信託期間	2022年4月26日から2032年5月17日までです。		
運用方針	外国投資法人であるマン・ファンズIXーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム・コアー日本円クラスの円建ての外国投資証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネーインベストメント マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券、商品等に関連する流動性の高いデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象とし、債券等を実質的な主要投資対象とし、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。各証券への投資比率は、通常の状態においては、マン・ファンズIXーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム・コアー日本円クラスの外国投資証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各証券の収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。		
主な投資対象	ダブル・ブレイン・コア（スタンダード）	マン・ファンズIXーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム・コアー日本円クラスの円建ての外国投資証券および野村マネーインベストメント マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	マン・ファンズIXーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム・コアー日本円クラス	世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券、商品等に関連する流動性の高いデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象とし、債券等を実質的な主要投資対象とします。	
	野村マネーインベストメント マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。	
主な投資制限	ダブル・ブレイン・コア（スタンダード）	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行ないません。	
	野村マネーインベストメント マザーファンド	株式への投資は行ないません。外貨建資産への投資は行ないません。	
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。		

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分	配 金	騰 落 率				
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2022年 4 月 26 日	10,000	—	—		—	—	—	6,971
1 期(2023年 5 月 17 日)	9,305	0	△ 7.0	0.0	—	98.7		55,805
2 期(2024年 5 月 17 日)	10,120	0	8.8	0.0	—	98.9		61,624
3 期(2025年 5 月 19 日)	8,479	0	△ 16.2	0.0	—	98.5		44,784
4 期(2026年 5 月 18 日)	10,205	0	20.4	0.0	—	98.7		38,669

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落	率			
(期 首)	円	%		%	%	%
2025年 5 月 19 日	8,479	—		0.0	—	98.5
5 月末	8,509	0.4	0.0	—	98.7	
6 月末	8,719	2.8	0.0	—	98.6	
7 月末	8,784	3.6	0.0	—	99.0	
8 月末	8,783	3.6	0.0	—	98.4	
9 月末	9,053	6.8	0.0	—	99.1	
10 月末	9,544	12.6	0.0	—	98.8	
11 月末	9,320	9.9	0.0	—	98.6	
12 月末	9,558	12.7	0.0	—	97.7	
2026年 1 月末	10,137	19.6	0.0	—	98.3	
2 月末	10,570	24.7	0.0	—	98.3	
3 月末	9,878	16.5	0.0	—	98.9	
4 月末	10,046	18.5	0.0	—	99.3	
(期 末)						
2026年 5 月 18 日	10,205	20.4	0.0	—	98.7	

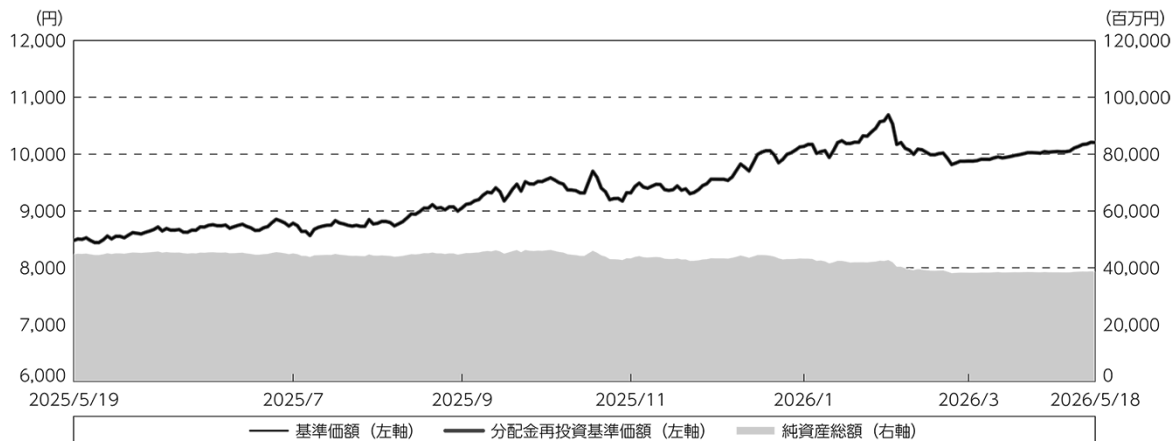
* 騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：8,479円

期 末：10,205円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：20.4%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2025年5月19日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等からのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）
 為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）またはプレミアム（金利差相当分の収益）

○投資環境

【世界株式市場】

株式市場は、米国の関税政策を巡る不透明感の後退、米国などの金融緩和政策が継続したこと、半導体やAI関連銘柄への期待感などを背景に、上昇基調となりました。2026年3月には米国とイスラエルによるイランへの軍事攻撃を受けて反落しましたが、その後は停戦を好感して反発し、当作成期間では株式市場は上昇しました。

【世界債券市場】

債券市場は、インフレの落ち着きや緩やかな経済成長、米国などの金融緩和政策の継続を背景に、金利は低下（価格は上昇）基調となりました。その後、中東情勢の緊迫化や原油価格の急騰を受けて、インフレ懸念が高まり金利は上昇（価格は下落）したものの、当作成期間では債券市場は上昇しました。

【商品市場】

商品市場は、当作成期間では、地政学的リスクの高まりや米ドル安などを背景に、貴金属や原油などの価格の上昇がけん引し、上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

【ダブル・ブレイン・コア（スタンダード）】

〔マン・ファンズⅩーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム・コアー日本円クラス〕および〔野村マネーインベストメント マザーファンド〕受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする〔マン・ファンズⅩーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム・コアー日本円クラス〕受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持しました。

【マン・ファンズⅩーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム・コアー日本円クラス】

世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象とします。

○当作成期におけるファンドの騰落率はプラスとなりました。セクター別ではファンドに対するプラスの影響が大きかったのは、株式セクターなどとなりました。個別の寄与度では、ブルームバーグ商品指数（除く農産物）、TOPIX指数などが上位となりました。

【野村マネーインベストメント マザーファンド】

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

◎分配金

収益分配は、基準価額水準等を勘案して決定しました。
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第4期
	2025年5月20日～ 2026年5月18日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	658

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

〔ダブル・ブレイン・コア（スタンダード）〕

〔マン・ファンズⅩーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム・コアー日本円クラス〕受益証券および〔野村マネーインベストメント マザーファンド〕受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする〔マン・ファンズⅩーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム・コアー日本円クラス〕受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持します。

〔マン・ファンズⅩーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム・コアー日本円クラス〕

世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象とすることにより、中期的な収益の獲得を目指します。

また、米ドル売り円買いの為替ヘッジを機動的に行ないます。

〔野村マネーインベストメント マザーファンド〕

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図ります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 5 月20日～2026年 5 月18日)

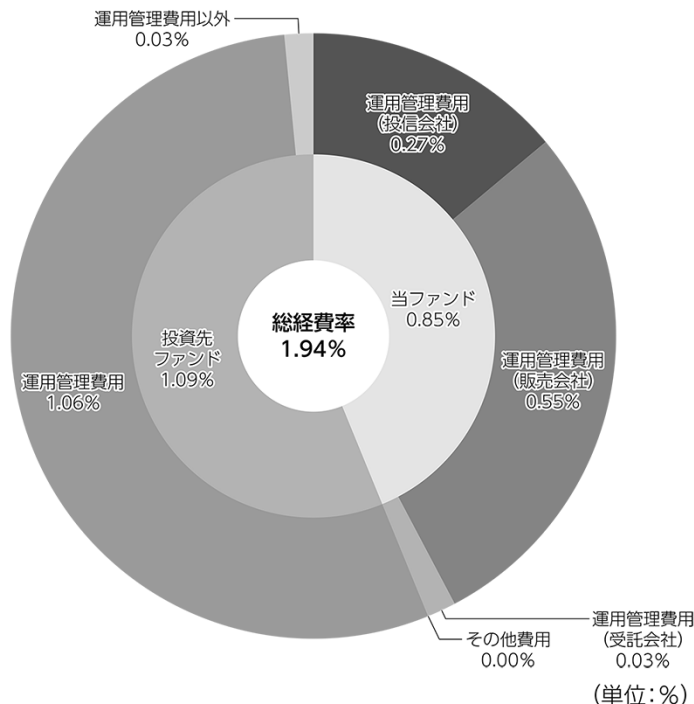
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 80	% 0. 856	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(26)	(0. 274)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(52)	(0. 548)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(3)	(0. 033)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0. 003	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	80	0. 859	
期中の平均基準価額は、9,408円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



総経費率 (①+②+③)	1.94
①当ファンドの費用の比率	0.85
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.06
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 当ファンドの費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 投資先ファンドの費用は、投資先ファンドの開示基準に基づき算出したものです。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年5月20日～2026年5月18日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	マン・ファンズIXーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム・コアー日本円クラス	口	千円	口	千円
		—	—	1, 472, 300	14, 502, 500

* 金額は受け渡し代金。
* 金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年5月20日～2026年5月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年5月18日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
マン・ファンズIXーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム・コアー日本円クラス		口	口	千円	%
		5, 093, 031	3, 620, 730	38, 178, 072	98. 7
合	計	5, 093, 031	3, 620, 730	38, 178, 072	98. 7

* 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。
* 評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘柄		期首(前期末)	当期末
		口数	口数 評価額
野村マネーインベストメント マザーファンド		千口 99	千口 千円 99 100

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年 5月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 38,178,072	% 98.0
野村マネーインベストメント マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	770,678	2.0
投資信託財産総額	38,948,850	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年 5月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	38,948,850,467
コール・ローン等	770,661,948
投資信託受益証券(評価額)	38,178,072,175
野村マネーインベストメント マザーファンド(評価額)	100,728
未収利息	15,616
(B) 負債	279,469,625
未払解約金	102,070,433
未払信託報酬	176,719,556
その他未払費用	679,636
(C) 純資産総額(A－B)	38,669,380,842
元本	37,893,824,686
次期繰越損益金	775,556,156
(D) 受益権総口数	37,893,824,686口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,205円

(注) 期首元本額は52,821,057,155円、期中追加設定元本額は1,713,358,095円、期中一部解約元本額は16,640,590,564円、1口当たり純資産額は1.0205円です。

○損益の状況 (2025年 5月20日～2026年 5月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,961,850
受取利息	3,961,850
(B) 有価証券売買損益	6,791,829,926
売買益	8,408,551,272
売買損	△1,616,721,346
(C) 信託報酬等	△ 370,920,005
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	6,424,871,771
(E) 前期繰越損益金	△4,118,202,238
(F) 追加信託差損益金	△1,531,113,377
(配当等相当額)	(188,507,291)
(売買損益相当額)	(△1,719,620,668)
(G) 計(D＋E＋F)	775,556,156
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	775,556,156
追加信託差損益金	△1,531,113,377
(配当等相当額)	(188,507,291)
(売買損益相当額)	(△1,719,620,668)
分配準備積立金	2,306,669,533

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2025年5月20日～2026年5月18日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2025年5月20日～ 2026年5月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	3,739,716円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	556,881,853円
c. 信託約款に定める収益調整金	188,507,291円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,746,047,964円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	2,495,176,824円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	658円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が2026年4月1日で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更されたことに伴い、投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に改める所要の約款変更を行ないました。
＜変更適用日：2026年4月1日＞

マン・ファンズⅨーマン・インスティテューショナル・
ポートフォリオ・チタニウム・コアー日本円クラス

2024年12月31日決算

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン諸島籍外国投資法人
投 資 対 象	世界各国(新興国を含みます。)の株式、債券、商品等に関連する流動性の高いデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象とし、債券等を実質的な主要投資対象とします。
投 資 方 針	マン・ファンズⅨーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム・コアはマン・グループが運用を行なうマスターファンドを通じて、世界各国(新興国を含みます。)の株式、債券、商品等に関連する流動性の高いデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象とし、債券等を実質的な主要投資対象とすることにより、中期的な収益の獲得を目指します。
管 理 会 社	マン・アセット・マネジメント(ケイマン)リミテッド
投 資 顧 問 会 社	マン・ソリューションズ・リミテッド
管 理 事 務 代 行 会 社 名義書換事務受託会社	BNY メロン・ファンド・サービスズ(アイルランド)ディー・エー・シー
保 管 会 社	ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン

* 作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。

損益計算書

2024年12月31日に終了した年度

	米ドル
投資収益	
受取利息	12,512,088
投資収益合計	12,512,088
費用	
運用報酬	4,065,073
サービス管理報酬	57,000
支払利息	45,214
保管費用	7,461
取締役報酬	6,286
雑費用	27,431
費用合計	4,208,465
純投資損益	8,303,623
投資有価証券、デリバティブおよび外国通貨に係る実現純損益および未実現評価損益の変動額	
投資有価証券、デリバティブおよび外国通貨に係る実現純損益	(3,833,444)
投資有価証券、デリバティブおよび外国通貨に係る未実現評価損益の純変動額	(43,565,965)
投資有価証券、デリバティブおよび外国通貨に係る実現純損益および未実現評価損益の変動額	(47,399,409)
運用による純資産の純増減額	(39,095,786)

投資明細表

(2024年12月31日現在)

買建有価証券およびデリバティブ(公正価値)

銘柄	償還頻度	償還通知期間	数量/額面金額	公正価値 (米ドル)	純資産比率 (%)
買建有価証券(公正価値)					
国債					
アメリカ					
United States Treasury Bill 0% 16/01/25			50,000,000	49,917,635	15.44%
United States Treasury Bill 0% 06/02/25			50,000,000	49,795,264	15.40%
United States Treasury Bill 0% 13/03/25			45,000,000	44,634,290	13.81%
United States Treasury Bill 0% 20/03/25			50,000,000	49,553,581	15.33%
アメリカ合計(取得原価:\$190,934,349)				193,900,770	59.98%
国債合計(取得原価:\$190,934,349)				193,900,770	59.98%
マネージド・ファンズ					
ケイマン諸島					
AHL TargetRisk Focus Master Limited*	Daily	1 Day	84,746	85,602,672	26.47%
Man AHL Pure Momentum Limited*	Daily	1 Day	14,830,242	32,325,479	10.00%
ケイマン諸島合計(取得原価:\$113,560,915)				117,928,151	36.47%
マネージド・ファンズ合計(取得原価:\$113,560,915)				117,928,151	36.47%
買建有価証券(公正価値)合計(取得原価:\$304,495,264)				311,828,921	96.45%
買建デリバティブ(公正価値)					
為替先渡契約					
各種通貨				287,329	0.09%
為替先渡契約合計				287,329	0.09%
買建デリバティブ(公正価値)合計				287,329	0.09%
買建有価証券およびデリバティブ(公正価値)合計(取得原価:\$304,495,264)				312,116,250	96.54%
売建デリバティブ(公正価値)					
為替先渡契約					
各種通貨				(11,080,127)	(3.43%)
為替先渡契約合計				(11,080,127)	(3.43%)
売建デリバティブ(公正価値)合計				(11,080,127)	(3.43%)

* マネージド・ファンズは本ファンドの関係会社であるポートフォリオ・マネージャーによって運用されているため、本ファンドの関係ファンドである。関係ポートフォリオ・マネージャーによっていかなる運用報酬も成功報酬もマネージド・ファンズに対して課金されていない。

野村マネーインベストメント マザーファンド

運用報告書

第16期（決算日2026年2月18日）

作成対象期間（2025年2月19日～2026年2月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行ないます。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
12期(2022年 2 月18日)	10, 023	△0. 1		0. 3	—	3, 520
13期(2023年 2 月20日)	10, 020	△0. 0		0. 3	—	3, 450
14期(2024年 2 月19日)	10, 017	△0. 0		0. 6	—	1, 984
15期(2025年 2 月18日)	10, 033	0. 2		62. 6	—	20
16期(2026年 2 月18日)	10, 079	0. 5		62. 3	—	20

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
* 値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

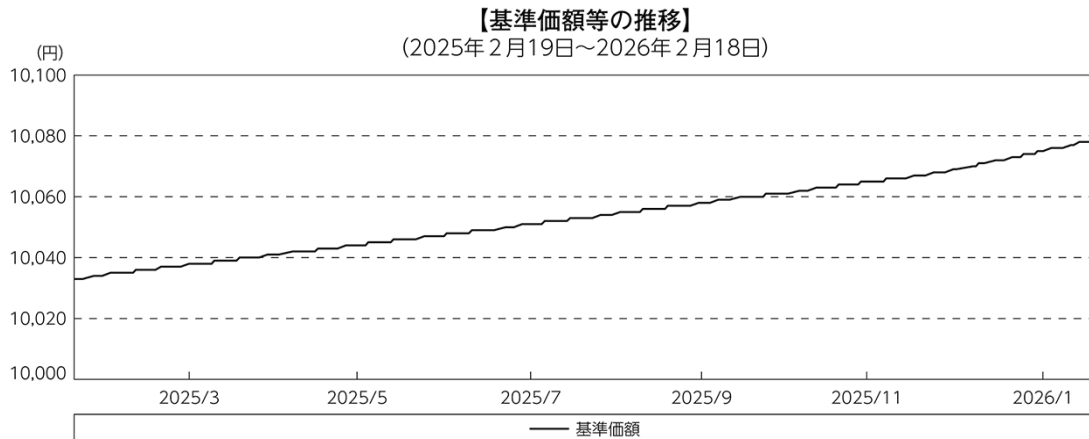
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落	率			
(期 首) 2025年 2 月18日	円		%	%	%	%
	10, 033		—	62. 6		—
2 月末	10, 034		0. 0	62. 6		—
3 月末	10, 038		0. 0	62. 5		—
4 月末	10, 041		0. 1	62. 5		—
5 月末	10, 044		0. 1	62. 5		—
6 月末	10, 047		0. 1	62. 5		—
7 月末	10, 051		0. 2	62. 5		—
8 月末	10, 054		0. 2	62. 5		—
9 月末	10, 058		0. 2	62. 4		—
10月末	10, 061		0. 3	62. 4		—
11月末	10, 065		0. 3	62. 4		—
12月末	10, 069		0. 4	62. 4		—
2026年 1 月末	10, 075		0. 4	62. 3		—
(期 末) 2026年 2 月18日	10, 079		0. 5	62. 3		—

* 騰落率は期首比です。
* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

保有する短期有価証券やコール・ローン等からの利息収入。

○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークなどはありません。

◎今後の運用方針

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図ります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 2 月19日～2026年 2 月18日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2025年 2 月19日～2026年 2 月18日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 2, 444, 984	千円 2, 420, 052 (25, 000)

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)
*単位未満は切り捨て。
* () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2025年 2 月19日～2026年 2 月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年 2 月18日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建) 公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	13, 000 (13, 000)	12, 997 (12, 997)	62. 3 (62. 3)	— (—)	% (47. 9)	% (—)	% (14. 4)
合 計	13, 000 (13, 000)	12, 997 (12, 997)	62. 3 (62. 3)	— (—)	47. 9 (47. 9)	— (—)	14. 4 (14. 4)

* () 内は非上場債で内書きです。
*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
*金額の単位未満は切り捨て。
*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
*残存期間が 1 年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当期			
		利	率	額面金額	評価額
国債証券			%	千円	千円
国庫短期証券 第1353回			—	3,000	2,997
国債バスケット (変動利付・利付・国庫短期証券) ※			—	10,000	10,000
合計				13,000	12,997

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。
* ※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成 (2026年2月18日現在)

項目	当期	
	評価額	比率
公社債	千円 12,997	% 62.3
コール・ローン等、その他	7,868	37.7
投資信託財産総額	20,865	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年2月18日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	20,865,336
コール・ローン等	7,027,900
公社債(評価額)	12,997,294
未収利息	142
差入委託証拠金	840,000
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A－B)	20,865,336
元本	20,702,369
次期繰越損益金	162,967
(D) 受益権総口数	20,702,369口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,079円

(注) 期首元本額は20,702,369円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円、1口当たり純資産額は1.0079円です。

○損益の状況 (2025年2月19日～2026年2月18日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	94,265
受取利息	94,265
(B) 有価証券売買損益	146
売買益	146
(C) 当期損益金(A＋B)	94,411
(D) 前期繰越損益金	68,556
(E) 計(C＋D)	162,967
次期繰越損益金(E)	162,967

* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。

○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末
	元本額
	円
ノルディック社債ファンド 為替ヘッジあり	9,952,230
ノルディック社債ファンド 為替ヘッジなし	9,952,230
グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド Aコース	99,771
グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド Bコース	99,771
ダブル・ブレイン・コア (マイルド)	99,771
ダブル・ブレイン・コア (スタンダード)	99,771
ダブル・ブレイン・コア (ブル)	99,771
ダブル・ブレイン (マイルド)	99,721
ダブル・ブレイン (ブル)	99,721
ダブル・ブレイン	99,612

○お知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2025年4月1日>